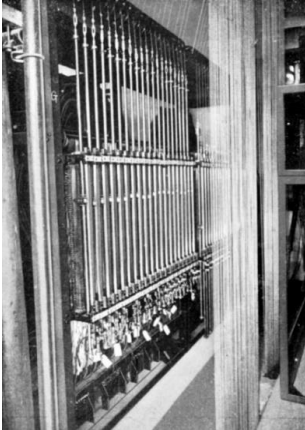


独自開発による最初の本格的な舞台照明設備

登録番号	第 00382号		
登録年月日	2025（令和7）年9月18日	登録区分	第二種 （単一又は極めて少量生産されたもの）
名称 （型式等）	U型多分岐式調光変圧器		
所在地	東京都大田区		
	丸茂電機株式会社 技術センター		
所有者 （管理者）	丸茂電機株式会社		
製作者（社）	丸茂電機製作所（現 丸茂電機株式会社）		
製作年	1933年		
初出年	1933年		
選定理由	本資料は1934年に開場した東京宝塚劇場に導入された舞台照明設備の主要装置である。舞台照明設備は西洋風の劇場の登場と共に輸入され、大正時代には外国製を模倣した国産品も登場するようになった。それらで使用されていた抵抗器式の調光装置に変わり、丸茂電機が独自に開発したのが多分岐式調光変圧器であり、国内で初めて東京宝塚劇場に採用された。変圧器の巻線の途中に複数の端子を設けて電圧を分割し、多数の調光回路を一つの変圧器で受け持たせたことにより、回路ごとの抵抗器が必要なくなり電力損失が少なくなり、負荷の変動にかかわらず一様に調光することが可能となった。この方式は通称「オートトランス式調光装置」と呼ばれ、サイリスタ方式に変わるまで30年以上も我が国の舞台照明用調光装置の主流となり、その先駆けとして重要である。		
登録基準	二ーイ （国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの） 二ーハ （社会、文化と科学技術の関わりにおいて重要な事象を示すもの）		

公開・非公開	非公開		
写真	  設置時の様子		